

報道関係者各位

2009年6月12日
森ビル株式会社

**変革期にリーダーが想いを語り継ぐ「塾」
アカデミーヒルズ 「日本元気塾」 6月19日に開講！
～入塾倍率3.5倍の狭き門 目標は“自分ブランド構築”～**

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」(六本木ヒルズ森タワー49階、理事長 竹中 平蔵)は、6月19日(金)に「日本元気塾 第一期 入塾式」を開催します。講師である高島郁夫、藤巻幸夫、そして米倉誠一郎らの「日本を元気にする」という想いや志を共に学び・行動することを望む応募者は389名に上りました。選考を経て入塾する110名はこれから1年間を通じて様々な課題に取り組みます。

【日本元気塾 実施概要】

塾 長：米倉 誠一郎(一橋大学イノベーション研究センター長・教授)

講 師：高島 郁夫(株式会社バルス代表取締役社長)

藤巻 幸夫(株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長)

各講師がそれぞれ「米倉塾」「高島塾」「藤巻塾」を開講

期 間： 1年間

入塾式 6月19日(金)19時～ アカデミーヒルズ40 キャラントB

応募資格：開塾期間を通して積極的に活動に取り組む意欲にあふれる満20歳以上の方

受講料：月額18,900円/年一括支払い210,000円(いずれも税込み)

塾 生：合計110名

米倉塾 36名 (男性61%：女性31% / 平均年齢36.72歳)

高島塾 37名 (男性54%：女性46% / 平均年齢32.70歳)

藤巻塾 37名 (男性41%：女性59% / 平均年齢32.46歳)

入塾動機は3人に1人が「自分ブランドの構築・自分の意識や能力の向上」を希望
応募者389名のうち、正式に選考に進んだ302名の属性は男性61%・女性39%で、ほぼ100%
が何らかのお仕事をされているビジネスパーソン。20歳～70歳まで幅広い年代の方からお
申し込みをいただきましたが、30代が約半数の47%を占めました。

入塾動機は「自分ブランドの構築・自分の意識や能力の向上」を33%の人が挙げた他、「日
本を元気に」「学びを社会に還元」という記述も10%見られました。

エントリーシート内「入塾動機」から事務局が集計 / 詳細は次ページをご参照ください

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ 深町 TEL :03-6406-6649 FAX : 03-6406-9350

広報室 森澤 TEL :03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306

住所： 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49階

E-mail : academyhills-PR@mori.co.jp

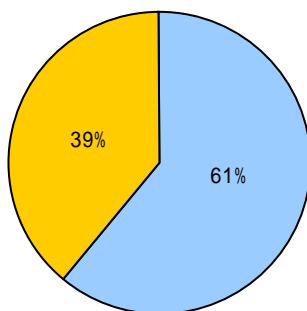
【「日本元気塾」応募者概要】

- 1、応募者 389 名に対し、合格者 110 名と倍率約 3.5 倍。
- 2、正式に選考に進んだ 302 名のうち、男性 61%、女性 39%（図 1）
- 3、平均年齢は 34.5 歳。30 代を中心に 20 歳の若者から 70 歳まで幅広く分布。（図 2）
- 4、ビジネスパーソンがほぼ 100%、内訳は企業に勤める人は 76%、経営者及びフリーランスが 24%を占める。（図 3）
- 5、入塾動機は「日本元気塾」を通じて「自分ブランドの構築・自分の意識や能力の向上」を 33%が挙げる。その他、「現在、あるいは将来の仕事に生かす」との回答が約 25%ずつ。「日本元気塾」の理念である「日本を元気にする」「学びを社会に還元する」の回答も約 10%挙がる。（図 4）

エントリーシート内「入塾動機」から事務局が集計

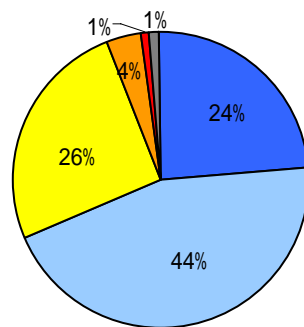
n=302

(図1) 男女比



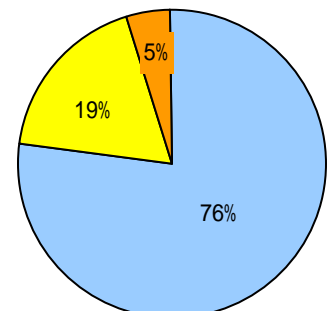
□男性 □女性

(図2) 年齢構成



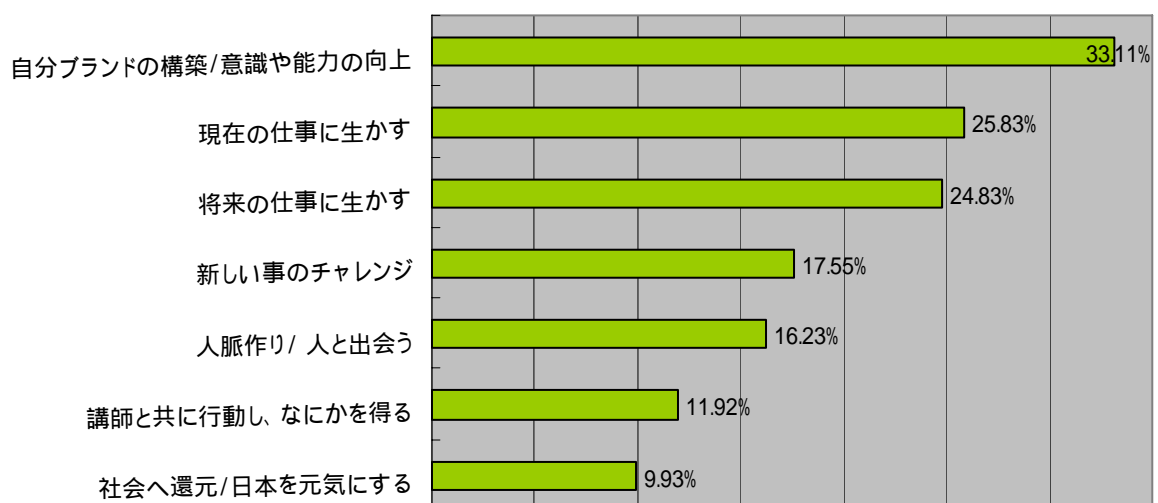
■20代 ■30代 ■40代
■50代 ■60代以上 ■不明

(図3) 勤務形態種別



□勤め先あり □経営者 □フリー

(図4) 入塾動機



注1:エントリーシート中の「志望動機」から事務局が集計

注2:複数項目の記載がある場合には複数カウント

【日本元気塾 今後の予定】

第一回は各コースそれぞれオリエンテーリング及び、今後の活動の方針・基礎知識を共有する講義形式の授業になります。2 回目以降からはそれぞれコースによってゲストを招いたり、他施設でのフィールドワークを予定しております。

各コース第一回目日程

・米倉塾

日時:6月22日(月)19:00~21:00

・高島塾

日時:6月25日(木)19:00~21:00

・藤巻塾

日時:6月22日(月)19:00~21:00

場所はいずれもアカデミーヒルズ内にて開催。

日本元気塾スペシャルプログラム

「建築家安藤忠雄 vs 日本元気塾 in 直島 ~日本のソフトパワーを紐解く~」

建築・アート・自然と地域社会の共生を可能にした「ベネッセアートサイト直島」を、日本元気塾の講師米倉誠一郎・高島郁夫・藤巻幸夫 3 氏とともに訪れ、安藤忠雄氏自身による講演を通じて、これからの日本や世界の未来について考えます。

日本元気塾塾生以外の方も参加可能なプログラムです。

日時:6月28日(日)~1泊2日

場所:ベネッセアートサイト直島

講師:米倉 誠一郎 / 高島 郁夫 / 藤巻 幸夫

ゲストスピーカー:安藤忠雄(建築家)

特別ゲスト:福武 総一郎(株式会社ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼 CEO)



撮影者:山本紉

日本元気塾セミナー

日本の蚊帳(かや)がアフリカの貧困を救う

~1人の日本人が20年間続けたライフワークが、世界を動かす~

日時:7月9日(木)19:00~21:00

講師:伊藤高明(住友化学(株)農業化学部門主幹)

モデレーター:米倉誠一郎(日本元気塾塾長)

ホームレスから企業を上場した男

~「ありがとう」を生み出すQ&Aサイト「OKWave」ができるまで~

日時:7月31日(金)19:00~21:00

講師:兼元謙任(オウケイウェイヴ代表取締役社長)

モデレーター:米倉誠一郎(日本元気塾塾長)

日本元気塾セミナーとは

「日本元気塾セミナー」とは日本元気塾塾長 米倉誠一郎氏がモデレータを務め、イノベーターであると共に、熱い想いや志を持つ人をゲストに招くサブプロジェクト。日本を元気にする原動力になる人から直接話を聞き、多くの人の中に日本を元気にする種を蒔くプロジェクトです。塾生のみならず、一般の方もご参加いただけます。

【日本元気塾 講師プロフィール】

米倉 誠一郎



日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授

1953年東京生まれ。81年一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。90年ハーバード大学歴史学博士号取得。95年一橋大学商学部産業経営研究所教授、97年より同大学イノベーション研究センター教授。季刊誌『一橋ビジネスレビュー』編集委員長。イノベーションを核とした企業の経営戦略と発展プロセス、組織の史的研究に重点をおいている。

高島 郁夫



株式会社バルス 代表取締役社長

1956年福井県生まれ。関西大学経済学部経済学科卒業。

マルチセーリング在籍中に新規事業として90年株式会社バルスを立ち上げ、92年より代表取締役。96年にMBOし、2000年ジャスダック市場に上場。05年に東証二部、06年に一部上場。Francfranc、BALS TOKYOなどリテールブランドビジネスを通じて感性豊かなライフスタイルを提案し、デザインによる付加価値の創造を追及する。

趣味はサーフィン、トライアスロン、スキューバダイビング、卓球、野球、ゴルフなど

藤巻 幸夫



株式会社フジマキ・ジャパン 代表取締役副社長

1960年東京生まれ。上智大学卒業後、伊勢丹に入社。「解放区」「リ・スタイル」「BPQC」などを立ち上げ、カリスマバイヤーとして知られる。2000年独立し、アパレルメーカーの経営や、商業施設プロジェクトなどのアドバイザー業務などを行う。2003年福助株式会社代表取締役社長となり再建に取り組む。以降、様々な企業で取締役などを務め、2008年2月より株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長に就任。8月にはシャツとトートバッグの店「CRUM(クラム)」をプロデュース。2009年2月末には品川駅構内エキキュートにて「Rails(レイルズ)藤巻商店」をプロデュース。

【日本元気塾とは】

知識には言葉にできる「形式知」と、言葉にできない「暗黙知」があり、日本元気塾は「暗黙知」を経験する場です。イノベーションとは、言葉ではまだ表現できない全く新しい価値観を生み出すこと。そのため、一緒に物事を作り上げていく中で共有される連帯感、使命感、高揚感が、未知の領域を創造する鍵になります。日本元気塾は「暗黙知」、つまり、日本を元気にするという高島郁夫、藤巻幸夫、そして米倉誠一郎の講師陣たちと想いや志をともに学び・行動することによって共有しようという試みです。自分自身を変革する、フロンティアを切り拓く、そのような気持ちに火をつけ、一步を踏み出す勇気と実行力のある個人を追求していききたいと思います。

【アカデミーヒルズ <http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長竹中平蔵 慶応義塾大学教授)は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「アーク都市塾」「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。